

News

FOR IMMEDIATE RELEASE

TRACY A. FINE
Moody's Analytics Communications
+1.415.874.6013

[Moody's Analytics Media Relations](#)



moodysanalytics.com



twitter.com/moodysanalytics



linkedin.com/company/moodysanalytics

ヴァンエックが 2 本の新 ETF でムーディーズ・アナリティックスのデータを利用

2020 年 12 月 7 日(ニューヨーク) – ムーディーズ・アナリティックスは本日、2 本の新しい上場投資信託 (ETF) のためのデータおよび分析プロバイダーとして、世界的な資産運用会社のヴァンエックと提携していることを発表しました。これらの 2 本の ETF は、米国の投資適格社債市場に焦点をあてた VanEck Vectors® Moody's Analytics® IG Corporate Bond ETF (MIG®) と、投資適格債で最も格付が低い BBB 格債セグメントに的を絞った VanEck Vectors® Moody's Analytics® BBB Corporate Bond ETF (M BBB®) です。

ムーディーズ・アナリティックスは、ヴァンエックのこれら 2 本の新ファンドの基準となる指数で使用するためのクレジット・リスク指標を提供しています。ヴァンエックは、ムーディーズ・アナリティックスの業界をリードする CreditEdge™ ソリューションにより作成されたいくつかのデータポイントを新 ETF の基準となる指数のインプットとして利用しています。

これらの指標は、金融市場から得られた情報に基づいており、企業の資本構造の詳細状況と組み合わせられます。これらは、信用の質の判断や市場が織り込んでいるクレジット・リスクに対して魅力的なスプレッドを提供する社債の選別のため、投資家によって用いられています。

投資家が新たな債券のスマートベータ戦略を求めようになる中、ここ数年で ETF 業界の人気が高まっています。多くの ETF は 2007~2008 年の金融危機時に高い運用成績を上げており、新型コロナウイルスのパンデミックに起因する景気後退局面にある現在も、優れたパフォーマンスを示しています。

ムーディーズ・アナリティックスのマネジング・ディレクターのニヒル・パテルは、次のように述べています。「CreditEdge ソリューションは、信用悪化の早期警告を発するための包括的なクレジット・リスク指標を備えています。これらの指標は、割安な社債の特定に役立つことが明らかになっています。当社は、ヴァンエックがこれらの指標を同社の新しい ETF の基準となる指数の重要なインプットとして使用することを大変うれしく思います。」

ヴァンエックの債券 ETF ポートフォリオ管理責任者のフラン・ロディロツソは、次のように述べています。「これらの新社債ファンドは、投資適格社債へのエクスポージャーを改善するための新しい信頼性の高いツールを投資家に提供することを目的に設計されました。これらのファン

ドは、過度なリスクを負わずに収益を得られる可能性とアウトパフォーマンスを提供します。これは、足元の長期にわたる低利回り環境下では特に重要な意味を持ちます。」

ムーディーズ・アナリティックスについて

ムーディーズ・アナリティックスは、金融情報と分析ツールの提供を通じて、ビジネスリーダーがより良い意思決定をより迅速に行えるよう支援します。当社は、リスクに対する深い専門性や広範な情報資源、テクノロジーの革新的な応用を用いて、お客さまが変化する市場において確信ある対応が行えるようサポートします。業界トップレベルの当社のソリューションは市場で高く評価されており、リサーチ、データ、ソフトウェア、および専門サービスを組み合わせ、優れたカスタマー・エクスペリエンスを提供することができます。当社は、その卓越性の追求、オープンマインドセット、およびお客さまのニーズ充足に対するたゆまない取り組みを背景に、信頼できるパートナーとして世界中の数千の機関に選ばれています。ムーディーズ・アナリティックスに関する詳細については、[当社のウェブサイト](#)をご覧くださいか、[Twitter](#) と [LinkedIn](#) でフォローしてください。

ムーディーズ・アナリティックスは、ムーディーズ・コーポレーション(NYSE: MCO)の子会社です。MCOは、2019年に48億米ドルの売上高を計上し、世界各地に約1万1300名の従業員を擁し、40カ国で事業を運営しています。

ヴァンエックについて

[ヴァンエック](#)は以前から、インパクトのある投資機会を生み出す可能性のあるトレンドを特定するために、金融市場の先にあるものに目を向けてきました。ミューチュアル・ファンド、ETF、機関投資家向け勘定を含め、ヴァンエックの2020年10月31日時点の運用資産残高はおおよそ601億ドルに達します。当社は、投資家に国際市場へのアクセスを提供した最初の米国の資産運用会社の1つです。それにより、1968年の金投資、1993年の新興国市場、2006年の上場投資信託など、後に資産運用業界を形作るようになった資産クラスとトレンドの特定を重視する当社の姿勢が確立されました。

現在ヴァンエックは、入念に設計された運用プロセスに支えられた魅力的なエクスポージャーを有するアクティブおよびパッシブ戦略を提供しています。当社の能力は、中核的な投資機会からポートフォリオの分散度を高めるためのより専門的なエクスポージャーまで、広範囲にわたります。当社のアクティブ運用戦略は、綿密なボトムアップのリサーチと、投資先のセクターや地域で直接的な経験を有するポートフォリオ・マネージャーが行う銘柄選別により裏付けられています。投資可能性、流動性、多様性、透明性が、ヴァンエックのパッシブ戦略の基礎となる市場および指数の選別に関する経験に根差した意思決定の鍵となっています。

1955年の創業以来、いかなる市場環境下でも顧客利益を第一とすることが当社の使命の中核をなしています。

本記者発表文の公式バージョンはオリジナル言語版です。翻訳言語版は、読者の便宜を図る目的で提供されたものであり、法的効力を持ちません。翻訳言語版を資料としてご利用に

なる際には、法的効力を有する唯一のバージョンであるオリジナル言語版と照らし合わせて頂くようお願い致します。

###